# ■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

# 1 基本情報

公の施設名	相模原市立環境情報センター			
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社			
指定期間	令和4年4月1日~令和9年3月31日			
施設設置条例	相模原市立環境情報センター条例			
施設の設置目的	環境の保全及び創造に関する学習の推進並びに市民等が自主的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進を図る。			
施設概要	開所日 平成18年4月1日 所在地 相模原市中央区富士見1-3-41 構 造 鉄筋コンクリート造2階建て 敷地面積 2,393.29㎡(衛生研究所敷地含む) 延床面積 600㎡			
施設所管課	環境経済局環境部ゼロカーボン推進課			

## 2 管理実績

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者数合計(人)	16,805	15, 411	11,880		
利用料金合計(円)	1, 312, 870	857, 297	425, 160		
貸館率(%)	59.0%	60.0%	25.0%		

## 3 成果指標の達成度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		評価点
評価(5評価)	U	S	S			評価点 (20点満点)	15

指標1	
指標名(単位)	事業開催に伴う参加人数(単位:人)
指標式と指標の説明	(環境学習事業の参加人数の実績値/目標値)×100

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(人)	2,850	2,900	2, 950		
実績値(人)	2,518	3, 330	3, 732		
達成度(%)	88. 4%	114.8%	126.5%	#DIV/0!	#DIV/0!

# 4 事業の実施状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		評価点
評価(5評価)	В	Α	A			評価点 (20点満点)	13.3

市が指定する事業		
主な事業名	内容等	効果等
自然環境観察員制度事業 環境学習セミナーの開催 (年2回以上)	身近な自然に目を向け自然環境に対する関心を高め、環境保全意識の高揚を図るとともに、大切な自然を監視・保全していくための基礎資料を継続的に集積する市民ボランティア制度を運営する。	これまで毎年5回を開催。毎年100名以上のボランティアが参加し自然環境に対する関心を高めると伴に市民ボランティア制度を運営することができました。
事業協力者登録制度「エコネット の輪」事業(年20回以上仲介、 紹介)		毎年70団体以上にご登録いただき、紹介・仲介 数は20件以上を実施。プログラム集は毎年改訂 発行しました。また、市内小学校の校外実習と して施設見学等でご利用いただけました。

企画提案事業		
主な事業名	内容等	効果等
環境学習事業(年30回以上)	基本理念、基本方針及び環境関係法令 等の趣旨を踏まえつつ、地球温暖化対 策、資源循環の推進、水とみどりの生 物多様性の保全・活用、環境リスクの 管理の4つのテーマを柱に、環境配慮 行動を促す事業をバランスよく企画、 運営する。	毎年50回以上を開催。参加者も年々増加し令和6年度は3,732名となりました。新規のイベント・講座も実施しました。 エコパークさがみはらの活動に対する認知度向上により、環境学習への参加者増加に繋がりました。
さがみはら環境まつり(年1回以 上)	環境保全意識の向上を図ることを目的 として開催する「さがみはら環境まつ り」の事務局を運営する。	第18回を緑区、第19回を南区、第20回を中央区開催と会場を変更しながら、相模原市全体で盛り上げていくおまつりとして開催しました。各出展者にもご協力いただき環境保全意識を推進することができた。また事務局運営も積極的、且つ効率的に行うことができました。
環境情報システム事業(年60回 以上、うち12回を動画)	図書や資料などを環境情報コーナーへ 配架するとともに、ホームページを活 用した様々な環境情報の提供業務を実 施する。	ホームページのアクセス数はR6年度の累計が 46,646回となりました。SNSはFacebook、 Instagramを投稿し、情報の提供を積極的に行いました。身近な自然の発見や、スタッフの気づきなどの投稿もあり好評いただきました。動画(YouTube・リール動画)配信も実施。講座、セミナーを録画した動画は過去のものも含めて徐々に視聴回数が増えている傾向にあり環境学習の情報提供として一端を担っております。

自主事業		
主な事業名	内容等	効果等
障がい者雇用施設きこり商品販売	通年にて木工品や布製品を展示、販 売。	きこりのスタッフとは来館者としても交流が図れ、また一般の来館者にも取組を理解いただく 機会を提供できました。
津久井産材商品販売	通年にて木工品や布製品を展示、販売。	木工品の販売を通して森林資源の有効活用や地 産地消について啓発しました。
さがみはらSDGs推進自動販売機設置	売上から相模原市への寄付のできる自 動販売機を設置。	来館者からの飲料購入要望にも対応でき、また、地域貢献にも繋げることができました。 (SDGsパートナーへの登録)
ユニリーバ・ジャパン・カスタ マーマーケティング(株)	ユニリーバ製空き容器のリサイクル ボックスの設置。	リサイクル活動への啓発を実施しました。
(株)パイロットコーポレーショ ン	使用済みペンのリサイクルボックスの 設置。	リサイクル活動への啓発を実施しました。

## 5 利用者の満足度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		評価点
評価(5評価)	S	Α	Α			評価点 (20点満点)	16.7

利用者満足度調査調査手法利用者へのアンケート調査を実施目標値の基準利用満足度の設問「全般的な満足度」に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値(%)	90	90	90		
実績値(%)	99.1	96.7	98.6		
達成度(%)	110. 1%	107. 4%	109.6%		

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
講座アンケートの実 施	講座参加者に対するアンケートを実施。なお、令和6年度全講座における「満足」または「やや満足」と回答した割合は93.2%であった。(回答総数586件)
意見箱の設置	施設内に意見箱を設置し、施設運営全般に対してご意見をいただいた。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容	
ご意見箱に投函されたアンケートに、2F休 憩コーナーにテーブル増設の要望がありま した。	丸テーブルを1台追加設置しました。	

## 6 施設の経営状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		評価点
評価(5評価)	S	S	В			評価点 (20点満点)	16.7

1.	施設の収支概要				(千円)	
	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入	(a)	26, 924	26,587	25, 991		
	指定管理料	25, 433	25,534	25, 413		
	利用料金収入	1, 313	857	425		
	その他の収入	178	196	153		
支出	(b)	26, 375	26, 299	27, 508		
	人件費	16,720	18, 230	19, 267		
	本社管理経費	2, 625	2,866	2,866		
	その他の支出	7,030	5, 203	5, 375		
本体	\$事業収支 【(a)−(b)】(c)	549	288	-1,517		
自主	=事業収入 (d)	62	66	62		
自主	三事業支出 (e)	14	55	50		
自主	<u>事業収支 【(d)-(e)】(f)</u>	48	11	12		
全体	k収支 【(c)+(f)】	597	299	-1,505		
	備考					

# 7 管理業務の履行状況

₩本恆口	確認結果				
検査項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

# 8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
環境リーダーの育成に繋がる「ビ オトープ管理士」に関わるセミ ナーを開催する。	ビオトープを知ってもらうための見学 会	令和7年7月に、長谷工の協力によりビオトープ 見学会を実施。ビオトープ管理士による質疑応 答
ハザードマップを作成・提示	利用者に注意喚起を行う	施設・設備の危険箇所が発生次第対応予定。

# 9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
2階活動室の床シートを補修してい ただきました。	いたため補修実施。	躓きによる転倒の危険がありましたが、今回の 補修により安全性の向上が図れました。
変更の補修工事を行いました。	これまで来場者が見えない死角があったのですが、今回の工事により事務室⇔エコギャラリーの見通しが良くなりました。	サービスの質向上
館内利用者への利便性の向上としてデスクを3セット設置	備品類をより身近に扱えるように致し ました。	利用者数の向上、環境アイテムの理解度を高める
倉庫内の整理整頓及び、不用品の 廃棄	備品等の廃棄を実施	備品管理及び2Sの徹底

### 10 指定管理者の自己評価

「かんきょうフェア」「アリオ橋本SDGsフェア」「さがみはら環境まつり」等多数のイベントへ参加し、令和6年度において発電自転車体験で約1,500人に参加いただき環境学習のきっかけ作りができました。「さがみはら環境まつり」は20回目の節目のまつりとして、また相模原市制施行70周年記念の冠事業として、これまでで最多の約4,000人にご参加いただき盛大に開催することができました。情報発信としてホームページ・SNSにも注力しホームページアクセスの累計は、「さがみはら環境まつり」の情報アップやイベント情報の随時アップなどにより累計46,646回となりました。またFacebook、Instagram、YouTubeのフォロワー数も順調に伸びました。環境学習講座をはじめとして自然観察員の調査活動やセミナー・部会・企画会議等は計画のとおり実施でき、多くの皆様に参加いただきました。エコギャラリーの展示は月毎に展示内容を変更して実施しました。エコネットの輪の紹介事業をとおして、地域の学校からの問い合わせも多く学校単位での施設内見学も授業の一端としての実施が増えています。今後は学習室の閑散期(夏休み期間等)を無料開放し、市民貢献に繋げるとともに認知度向上・来場者増加を図っていきます。これからもより一層、地域に愛される親しみやすい施設を目指して参ります。

### 11 所管課意見

### ≪施設の管理運営状況等に対する意見≫

外部イベントに出展し、アウトリーチ型の環境学習事業を行い、若い世代を中心とした無関心層に対して気軽に環境問題に触れる機会を提供したことや、新たな環境学習事業の企画などにより、幅広く環境意識の普及啓発を図っている。これまで全ての事業において目標となる指標を達成し、多くの事業でその指標を大きく上回っているていることから、市民等の環境意識の普及啓発を図ることができた考える。

施設利用者数については減少していることから、更なる様々な媒体を活用した施設利用の周知やエコギャラリー、情報発信コーナーの魅力向上に努められるとともに、引き続き、環境教育及び環境活動の拠点施設として、様々な主体との連携における中心的な役割を担い、更なる市民等の環境意識の醸成を図っていただきたい。

#### 12 選考委員会意見

### ≪指定管理者制度の適否・運用の変更の必要性等に関する意見≫

指定管理者制度での運用については、概ね良好であり、変更の必要性は無い。環境学習事業の参加者数については、アウトリーチ型事業も環境学習講座と同等として計上されていること等について、改めて分析し、成果指標や仕様書等を見直す必要がある。

#### ≪施設の管理運営状況等に対する意見≫

アウトリーチ型事業の実施により環境学習事業の参加者数が増えていることは評価できるが、アウトリーチ型事業をきかっかけに施設や環境問題に興味を持った市民に対し、更に環境について深く学ぶための環境学習事業の企画等、最終目標となる市民の環境意識の醸成や担い手の育成に向け内容の充実を図られたい。

未実施や実施したものの中止となっている一部の提案事項については、すべての事項において実施していただき、当初の 予定通り運営に努めていただきたい。

